

目 黒 区
子ども総合計画改定に係る基礎調査
報 告 書

平成26年 3 月

目 黒 区

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	2
2. 調査の種類	2
3. 調査方法と回収状況	2
4. 報告書利用上の留意点	2
第2章 就学前児童保護者調査	3
1. 児童と家族の状況	4
(1) 居住地区	4
(2) 宛名の子どもの年齢	4
(3) 子どもの数と末子の年齢	5
(4) 調査票回答者	5
(5) 同居・別居状況	6
(6) 子育てや教育を主に行っている人	6
2. 子どもの育ちをめぐる環境	7
(1) 子育てや教育にもっとも影響すると思われるもの	7
(2) 子どもをみてもらえる人	7
(3) 祖父母等の親族にみてもらっている状況	8
(4) 友人・知人にみてもらっている状況	9
(5) 子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人・場所の有無	9
(6) 気軽に相談できる先	10
3. 両親の就労状況	11
(1) 現在の就労状況	11
(2) 勤務体系	12
(3) 出勤・帰宅時刻	13
(4) 就労日数・時間	14
(5) フルタイムへの転換希望	18
(6) 就労意向	19
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	22
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況	22
(2) 定期的に利用している事業	22
(3) 利用状況	24
(4) 事業・施設の場所	28
(5) 区外施設を利用している理由	28
(6) 平日に定期的に利用されている主な理由	30
(7) 利用していない理由	31
(8) 利用希望事業	32
(9) 教育・保育事業を利用したい場所	37

5. 地域の子育て支援事業の利用状況	38
(1) サービス等の認知状況・利用経験・利用意向	38
(2) 主要な地域子育て事業の現在の利用状況	42
(3) 主要な地域子育て事業の利用意向	43
(4) 希望する利用回数	43
(5) 新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない理由	44
6. 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	45
(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況・意向	45
(2) 月に1～2回は利用したい理由	47
(3) 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用意向	48
(4) 週に数日利用したい理由	49
7. 病気の際の対応	50
(1) この1年間に病気やケガで通常事業が利用できなかったこと	50
(2) 通常事業が利用できなかった際の対応	50
(3) 病児・病後児保育施設等の利用意向	54
(4) 病児・病後児保育施設等の希望する事業形態	56
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	56
(6) 父母いずれも休めなかった理由	57
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	58
(1) 不定期な一時預かり等の利用状況	58
(2) 一時預かり等を利用していない理由	59
(3) 不定期な一時預かりの利用意向	60
(4) 不定期な一時預かりの事業形態	62
(5) 保護者の用事による、泊りがけでの対応の有無	63
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方	65
(1) 小学校低学年時の希望する放課後の過ごし方	65
(2) 小学校高学年時の希望する放課後の過ごし方	68
(3) 学童保育クラブの利用意向	70
(4) 長期の休暇期間中の学童保育クラブの利用意向	72
10. 子育てと職場の両立支援制度	73
(1) 育児休業の取得状況	73
(2) 育児休業取得後の職場復帰	75
(3) 育児休業からの職場復帰のタイミング	76
(4) 育児休業からの復帰時期の実際と希望	77
(5) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	78
(6) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の希望	80
(7) 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	81
(8) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	81
(9) 1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の育児休業取得	82
(10) 現時点での育児休業の取得予定	83
(11) 育児休業給付、保険料免除制度の認知状況	85

1 1. 子育て	86
(1) 子育てへの意識	86
(2) 日頃悩んでいることや困っていることの有無	87
(3) 悩みなどを解決するために必要な支援・対策	88
(4) 発育について気になることの有無	92
(5) 発育について、安心して相談できる場所の有無	92
(6) 発育についての相談先	93
(7) 発育について、希望する相談窓口	93
(8) 子どもの障害の有無	94
(9) 障害をもつ子どもの保護者が充実してほしい子育て支援	95
(10) 親子で日常的な公園の利用	96
(11) 主な利用公園までの徒歩での所要時間	96
(12) 日常的に公園を利用していない理由	97
(13) 子育てをするなかでの公園の利用方法	98
(14) 虐待だと思ふ行為	99
(15) 子ども虐待の発見時における通告義務の認知	99
1 2. 自由回答	100

第3章 就学児童保護者調査 103

1. 児童と家族の状況	104
(1) 居住地区	104
(2) 宛名の子どもの学年	104
(3) 子どもの数と末子の年齢	105
(4) 調査票回答者	106
(5) 同居・別居状況	106
(6) 子育てや教育を主に行っている人	107
2. 子どもの育ちをめぐる環境	108
(1) 子育てや教育にもっとも影響すると思われるもの	108
(2) 子どもをみてもらえる人	108
(3) 祖父母等の親族にみてもらっている状況	109
(4) 友人・知人にみてもらっている状況	109
(5) 子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人・場所の有無	110
(6) 気軽に相談できる先	111
3. 両親の就労状況	112
(1) 現在の就労状況	112
(2) 勤務体系	112
(3) 出勤・帰宅時刻	113
(4) 勤務日数・時間	115
(5) フルタイムへの転換希望	119
(6) 就労意向	120
4. 学童保育クラブの利用	122

(1) 利用状況	122
(2) 利用日数	123
(3) 利用している理由	124
(4) 利用していない理由	124
(5) 今後の利用意向	125
(6) 利用したい理由	126
(7) 学童保育クラブ短期入所制度の認知状況	127
(8) 学童保育クラブ短期入所の利用意向	128
5. 放課後の過ごし方	129
(1) 放課後の過ごし方	129
(2) 放課後対策事業の認知状況	132
(3) 放課後の過ごし方の希望	133
6. 病気の際の対応	136
(1) この1年間に病気やケガで学校を休まなければならなかったこと	136
(2) 通常事業が利用できなかった際の対応	136
(3) 病児・病後児保育施設等の利用意向	141
(4) 病児・病後児保育施設等の希望する事業形態	142
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由	142
(6) 父母いずれも休めなかった理由	143
7. 不定期な一時預かり等の利用	144
(1) 不定期な一時預かり等の利用状況	144
(2) 一時預かりを利用していない理由	145
(3) 不定期な一時預かりの利用意向	146
(4) 不定期な一時預かりの事業形態	147
(5) 保護者の用事による、泊りがけでの対応の有無	148
8. 子育て支援サービス等	150
(1) サービス等の認知状況・利用経験・利用意向	150
(2) 子育ての意識	153
(3) 日頃悩んでいることや困っていることの有無	154
(4) 悩みなどを解決するために必要な支援・対策	155
(5) 子どもの障害の有無	159
(6) 障害をもつ子どもの保護者が充実してほしい子育て支援	160
(7) 障害をもつ子どもの放課後の過ごし方	161
(8) 障害をもつ子どもの放課後の過ごし方として必要なサービス	161
(9) 親子で日常的な公園の利用	162
(10) 主な利用公園までの徒歩での所要時間	162
(11) 日常的に公園を利用していない理由	163
(12) 子育てをするなかでの公園の利用方法	164
(13) 虐待だと思ふ行為	166
(14) 子ども虐待の発見時における通告義務の認知	166
(15) この1年間に子どもが1回30分以上の運動やスポーツを行った頻度	167

(16) 子どもの運動・スポーツ活動	167
(17) 子どもが行っている習い事	168
(18) 親子で芸術文化の公演を直接鑑賞する頻度	169
(19) 今後望まれる芸術文化施策	169
9. 自由回答	170

第4章 子どもの生活と意識に関する調査（小学5年生） 171

1. 基本属性	172
(1) 性別	172
(2) 小学校種類	172
(3) 同居家族	173
(4) 居住地区	173
2. 日常生活	174
(1) 平日の放課後、休日の過ごし方	174
(2) 携帯電話・スマートフォンの保有状況	177
(3) 携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間	178
(4) 就寝時間	178
(5) 朝食・夕食の摂取状況	179
(6) 夕食の時間	180
(7) 朝食を食べない理由	180
(8) 一緒に食事をする人	181
3. 家庭	182
(1) 家庭生活	182
(2) 保護者とのきずな（つながり）を感じない理由	183
4. 人権	184
(1) 「目黒区子ども条例」の認知状況	184
(2) 子どもの権利	185
(3) 自分が落ち着ける、安心していられる場所	187
(4) 自分が人に認められていると感じるとき	188
5. 不安や悩み	190
(1) 悩みや不安に感じていること	190
(2) 認知・利用状況	192
(3) 心配事や悩みの相談相手	193
(4) 最近一年間での地域活動への参加状況	194
(5) 最近一年間での授業以外における区内施設の利用状況	195
6. 自由回答	196

第5章 10代の生活と意識に関する調査（中高生） 199

1. 基本属性	200
(1) 性別	200
(2) 学校の種類	200

(3) 同居家族	201
(4) 居住地区	201
2. 日常生活	202
(1) 平日の放課後、休日の過ごし方	202
(2) 携帯電話・スマートフォンの保有状況	211
(3) 携帯電話・スマートフォンの1日の使用時間	212
(4) 朝食・夕食の摂取状況	212
(5) 夕食の時間	213
(6) 朝食・夕食を食べない理由	214
(7) 一緒に食事をする人	215
(8) 生活満足度	216
(9) 自分の居場所	217
3. 家庭	219
(1) 家庭生活	219
(2) 保護者とのきずなを感じない理由	221
4. 人権など	222
(1) 「目黒区子ども条例」の認知状況	222
(2) 子どもの権利	223
(3) 自分が落ち着ける、安心していられる場所	229
(4) 日常生活で10代の人権が大切にされていないと思うこと	230
(5) 子どもの権利を尊重するまちの実現のために大切だと思う区や地域の取組	231
(6) 自分が人に認められていると感じるとき	232
5. 不安や悩み	235
(1) 悩みや不安に感じていること	235
(2) 認知・利用状況	239
(3) 心配事や悩みの相談相手	240
6. 活動	242
(1) 最近一年間での地域活動への参加状況	242
(2) 夢中になれたり、充実感を感じられたりするとき	244
(3) 児童館が18歳未満利用可能であることの認知	246
(4) 児童館実施事業の認知状況	247
(5) 最近一年間での授業以外における区内施設の利用状況	248
(6) 悩みや関心があることについて、同年代の人たちと話し合ってみたい	249
(7) ティーンズミーティングへの参加意向	249
7. 自由回答	250
第6章 調査票	255

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

子育てサービスのニーズや子育ての現状を把握し、目黒区子ども総合計画改定の基礎資料とするため。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 就学前児童保護者調査	区内在住の就学前児童保護者3,000人
2. 就学児童保護者調査	区内在住の就学児童保護者2,000人
3. 子どもの生活と意識に関する調査	区内在住の小学5年生1,000人
4. 10代の生活と意識に関する調査	区内在住の平成26年4月1日現在 14歳・17歳、各1,000人

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送配付－郵送回収

調査期間：平成25年10月10日（木）～11月1日（金）

<回収状況>

調査名	発送数	回収数	回収率
1. 就学前児童保護者調査	3,000	1,732	57.7%
2. 就学児童保護者調査	2,000	1,148	57.4%
3. 子どもの生活と意識に関する調査（小学5年生）	1,000	505	50.5%
4. 10代の生活と意識に関する調査（14歳）	1,000	523	52.3%
〃（17歳）	1,000	431	43.1%

4. 報告書利用上の留意点

・回答者数について

図表中の「n」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

・図表の単位について

本報告書に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り「%」（回答率）をあらわしている。

また、回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならない場合がある。

・図表における選択肢等の記載について

図表の記載にあたっては、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

・複数回答について

複数回答のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を回答率（%）の高いものから低いものへと並び換えて表示している場合がある。